

# 議会報告会報告書

開催日時	平成27年3月24日(火) 14時00分 ~ 15時30分		
開催場所	日光総合支所 会議室		
出席議員	筒井巖委員長	瀬高哲雄副委員長	加藤優委員
	野沢一敏委員	齋藤文明委員	和田公伸委員
	代表者 筒井委員長	司会者	瀬高副委員長
	報告者 全員	記録者	野沢・和田
参加者数	15人		
報告内容	市民との意見交換 テーマ1.観光協会合併後の運営と課題について テーマ2.誘客事業、インバウンド事業について		
《議会報告、意見交換に関する意見・要望》		委員会で協議を要する重要な政策要望と判断される提言等(要否)	
各地域ごとに観光地の特色が違い、事務局としての運営が非常に難しい。またインバウンドには費用(予算)がかかる。		否	
各地域(地区)とも特長を生かした活動はしているものの、職員のモチベーションが上がらず、一体感が未だ感じられない。		否	
今後の人件費などの抑制が必要。		否	
台湾等を訪問した際、日光市の世界遺産に対する認知度は高いが、それ以外は知られていない。もっと認知度を高める努力が必要。		否	
協会合併をして3年目、まだまだ難しい部分があるが、協会全体が同じ気持ちで活動していくべきである。		否	
県と更なる連携をはかり、メディア等を活用したPRを含め、情報発信を増やしていくべき。		否	
スマホ、インターネット活用を活用した観光情報発信を更に増やしてはどうか。		否	
今後、オリンピック合宿誘致等、様々な観光振興策を講じていかなければいけない中で、協会予算が700万減はおかしい。期間的に増額すべきである。		否	
発地型・着地型を分けて印刷物(ポスター・パンフレット)を製作すべき。また配置場所・掲示場所を考えて配布すべきである。		否	
日光市の観光予算と経済効果の額はいくらか。		否	
日光市の観光部と協会のすみ分けを明確にするべきである。		否	
400年大祭に向けて2社1寺の共通拝観券を復活するべきである。		否	
インバウンド絡みで大手旅行会社へ委託している事業があるが、まずは官公庁へ働きかけをするべきである。		否	
農業と観光をもっと連携させて、産地化を進めるべきである。		否*1	
<b>重要な政策要望と判断される提言等の今後の対応について</b>			
【否*1】については、所管事務調査事項と関連があることから、今後の委員会の中で調査研究していきます			

議会報告会調整会議 副議長 様

上記のとおり、報告いたします。

平成27年5月8日

産業観光常任委員会

委員長 筒井 巖

